

金融資産の運用には、「預貯金」と「投資」がある

預貯金



- 貯めることを重視
- 元本保証など確実性を重視
- 運用成果（結果）は
商品選択時に決まっている

投資



- ふやすことを重視
- 元本保証はない
- 運用成果（結果）は
期待できるが、予測できない

主な金融商品

普通預金

定期預金

積立定期預金

株 式

債 券
(国債・地方債など)

投資信託

		安全性		収益性		流動性
普通預金	収益性は高くはないが 安全性、流動性は高い	◎		△		◎
国内株式	安全性は低くても大きな 収益性が期待できる	△		◎		○
国内債券	収益性も少しありつつ 安全性も高い	○		○		△

3つとも ◎の金融商品はない

* 金融機関が破綻した場合 *

- 普通預金は**預金保険制度**により元本1,000万円（1金融機関ごとに預金者1人当たり）までとその利息等が保護
- 株式・債券は**分別管理**と投資者保護基金による補償の二重の制度によって保護

投資信託とは？

株式や債券などを組み合わせたパッケージ商品



パッケージ商品なので、
分散投資でリスクを軽減



専門家に運用はお任せ



少額で投資可能
積立投資なら、500円や1,000円程度
からの場合も。

- ✓ **金融資産の運用の手段には
貯めることを重視する預貯金と
ふやすことを重視する投資がある**
- ✓ **金融は経済成長や生活を豊かにするには
欠かせないもの**
- ✓ **投資のための商品には株式、債券と
それをパッケージにした投資信託がある**
- ✓ **ローリスク・ハイリターンの金融商品は
存在しない**